広報 さざ

5月(59号)

昭和56年度予算特集

“心”の健康増進もはかる 健康センター完成

(役場裏の町駐車場横)

待望久しかった健康管理センターが完成しました。総工費5,854万円で鉄筋コンクリート2階建て、延べ約374平方メートル。1階は、事務所のほか小会議室、健康相談室、ホール、幼児観察室など。2階は、機能回復訓練機を備えた農夫病予防訓練室、衛生教育室、健康管理食実習室など。こうした施設設備の中で一度に多くの人がご利用いただけることになります。

る住みよい町づくりへ

33億5,611万5千円

7,700万円の内訳は……

佐々町長 新年度予算方針から

町議会三月定例会で菊本町長は予算案の提出に先だち、昭和五十六年度の施政方針を表明しました。

施政方針は町勢の展望や向う一年間の事業をおこなうにあたり、町長の所信と方針を述べたもので、町の動きを知るものとして最適といえます。

ここに施政方針を要約してお知らせします。

一般会計予算説明

昭和五十六年度の我が国の　いままでの公債依存の財政で経済、財政運営の基本方針は　は、経済、金融政策の円滑な運営と新たな施策に支障を来し延いては経済の着実な発展と国民生活の安定向上を図るため、公債依存体質から早期に脱却し、その対応力の回復を図ることに努めるとしている。

従って町においても、その基本姿勢は国、県と同一歩調を配慮しながら、なお住民サイドに立って行政全般にわたる見直しと、それに伴う合理化に努める一方、歳入面の確保と財源の充実を図り、その限られた財源を重点的かつ効果的に配分し、節度ある財政運営を行うよう配慮しました。

厳しい町政状況の下で「誰れでも住みたくなる明るい町づくり」をモットーに、今年も住民の要望をあらゆる機会に取り上げ、その中から町勢振興の基盤となる道路、生活環境と基盤の整備などを図る一方、社会福祉の増進として、国際障害者の年にちなみ諸記念行事を計画しております。更に住民の保健衛生、健康保持のための健康づくり推進事業（健康管理センター）を新たに行うこととします。

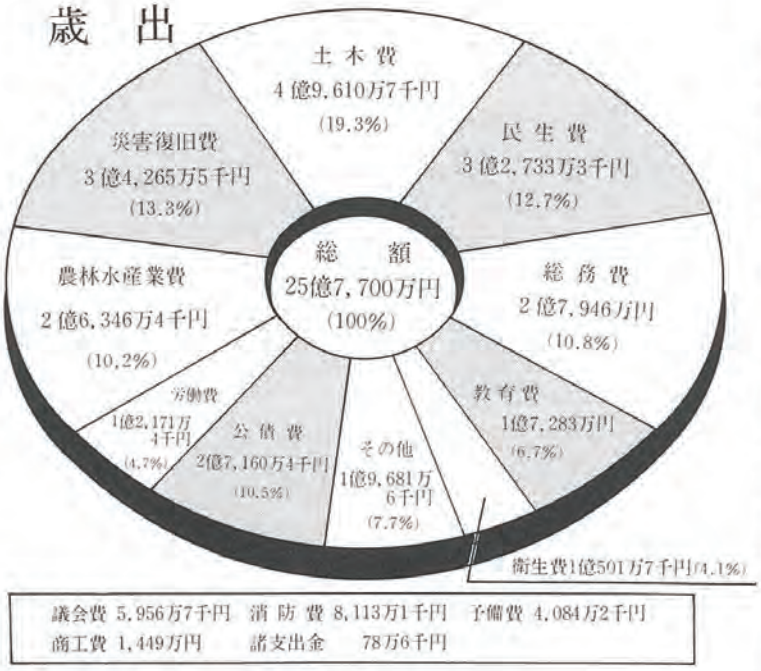
次に今年度の大型事業としては、公営住宅十六戸（松瀬）の建設、千本公園内のプール建設、駐車場（役場裏）の舗装、神田市瀬線町道（架橋含む）真竹谷及び大平線町道古川岳遊歩道などの建設を行う。

一方、その他の経費については、極力節減と、合理化に努めました。

このように配慮した結果、昭和五十六年度当初予算は、五十五年度（当初）予算に対して、全体で四億一千五百九十三万円（十九・二五%）の増、うち事業費が二億九千三百五十六万八千円（三十四・七三%）の伸びとなり、その他の経費が一億一千七百五十四万三千円（九・一八%）にとどまりました。

なお歳入については、地方税の徴収の確保、国県の補助金を積極的に導入、その他財源確保に努め、歳出では、事業費については住民の要望に対処するため、財源の許す限り措置し、事業以外については、年度間経費を計上しております。

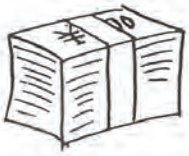
以上、昭和五十六年度施策方針の概要を説明しましたが更に、昭和五十六年度を目標に、新しい時代に対応した町づくりのための、町政基本構想をたて、「ふれあいとやすらぎのある住みよい町づくり」の建設を目標に積極的に取り組んでいきます。



ふれあいとやすらぎのあ

56年度当初予算 佐々町の予算総額は 一般会計 25億

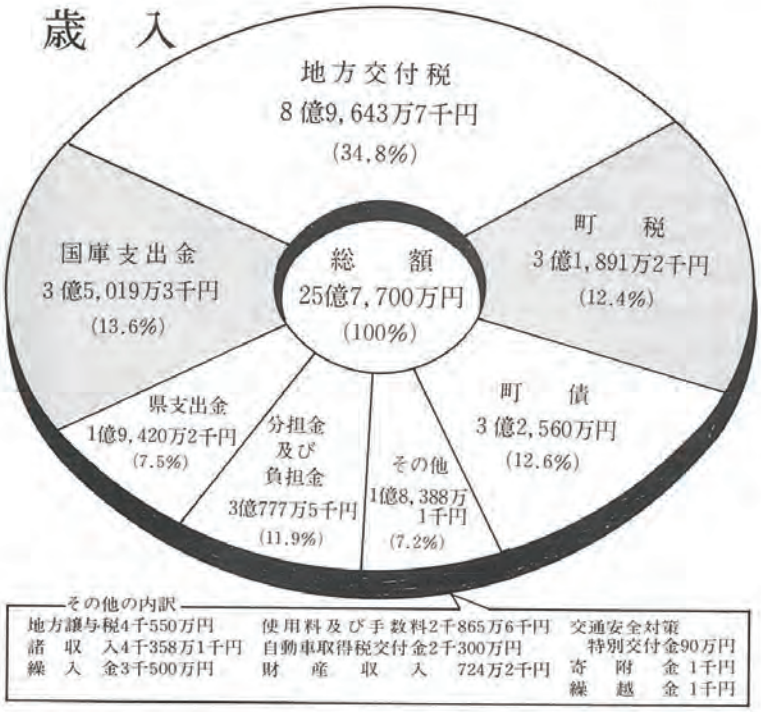
町民1人当たり使われる予算額は22万181円



町民1人当たりが負担する税金2万7,248円

1世帯当たりに使われる予算額77万1,556円

1世帯当たりが負担する税金9万5,482円



佐々町のことしのまちづくりの基本となる昭和五十六年度の当初予算が、三月定例町議会で決まりました。一般・特別会計合わせた予算総額は三十三億五千六百十一万五千円です。

きびしい経済情勢のもとで前年度に比べて三・九%の増加にとどまりましたが、町民生活に直結した事業を最優先に、より効果的に使い、できるだけのことをしていきます。

それでは、町の新しい予算のあらましをご紹介します。

効率的な配分と節度ある財政運営を

町のことしの予算は、総額で三十三億五千六百十一万五千円。

内訳は、一般会計が二十五億七千七百万円で前年度に比べ四億一千五百九十三万円、十九・二%の増加、特別会計が四億五千三百八十八万三千円で、一億六百六十七万三千円(三〇・七%)増加。企業会計の合計が三億二千五百二十三万二千円で、三億九千三百九十九万八千円(百二十一・

各会計の予算総額は(前年比増)

一般会計		25億7,700万円	19.2%
国民健康保険特別会計		4億5,388万3千円	30.7%
企業会計	水道事業会計	2億0,650万8千円	△65.2%
	診療所事業会計	1億1,872万4千円	2.2%
合計		33億5,611万5千円	3.9%

一％）減少しました。
これは五十五年度実施した浄水場建設費五億四十万六千円が含まれていたもので、建設費を除きますと四十八・六％増加となります。
各グラフや、表をご覧ください。
一般会計の収入では、町税が地方税法の一部改正が予定されていることをふまえ、三億一千八百九十一万二千円で全体の十二・四％の見込み計上、また前年対比で十・四％の伸びとなっています。
地方交付税は、伸び率、法人関係税の伸びの地域偏差等を勘案し、国の予算の伸び率に対し、五十五年度予算に、五千六百四十三万七千円（六・七％）を上回っています。
国庫支出金三億五千十九万三千円で、一億二千九十八万円（五十二・八％）、県支出金一億九千四百二十万二千円で、三千七十六万二千円（十八・八％）、それぞれ前年度を上回っています。
また、その他の歳入についても、国・県の予算の伸び率、基準及び前年度の実績を勘案し計上いたしました。
なお、町債が三億二千五百六十万円で、五千二百八十万円（十九・三％）の増加は、公営住宅建設事業など道路、河川、下水排水路整備生活環境基盤整備の推進、産業振興を積極的に推進するためであり、町税や地方交付税その他の財源の不足は、町債などでまかないますが、事務の合理化や効果的、重点的支出をするよう努力し、国に対しても、地方交付税の交付率の引き上げや超過負担の解消を要望し
一方、支出では土木費が四億九千六百十万七千円で、全体の十九・三％と最も多くを占め、災害復旧費、民生費がそれに続いています。
では、各項目ごとに主なものをご説明します。

貴重な税金 こんなふうに使われる

住民参加を積極的に
――議会・総務――

国関係の公共料金の値上げ　等を考慮し、一般庁用物件費の節限に努め、行財政の効率的な運用と、住民・関係機関との連けいをもって、適切な行政推進に取り組みます。

現地で綿密な計画の打合せ
（町長、議会議長ら関係者）

	万円
議会広報活動費	56
町内会長交付金補助金	902
町有地管理道路新設費	60
小規模生活環境整備費	70
技能協会補助金	15
町広報関係費	433
交通安全対策費	277
駐車場整備工事費	2,941
財政調整基金	450
知事選挙、農業委員選挙等啓発費ほか	854
各種統計費用	10
国土調査（地籍）	1,914
納期前納入報償金	150
広域行政圏事務電算処理負担金等	402

また隣接市町（一市十三町）が協力して組織している〝各種広域圏組合〟では、消防・ゴミ・電算事務をはじめ救急診療体制など数々の広域事業に協力しながら、住民サービス本意の行政に努めます。

住民健康づくりを推進
――民生・衛生・労働――

〝福祉の町づくり〟としていろいろな施策を計画しておりますが、とくに町民の健康を願い、疾病の予防、早期治療により、皆さんの健康で明るい家庭づくりができるように、今度新しく建設された健康センターを中心に町民の健康づくりを推進していくことにしています。

入所児の鍛練歩行（第1保育所）

最近、成人層において、ガン疾患、心疾患、脳血管等の病気が増加し、これによる死亡率も増加の傾向にあります。
これに対応し、成人層、老人層の健康増進対策を強化していくよう、健康相談、食生活指導、適当な運動の推進、又、成人病予防対策として集団検診を推進し、早期発見、早期治療の指導を行っていくことにしています。

"健康で明るい家庭をつくりましょう"

勤労者が安全かつ快適な職場で、その能力を十分発揮するとともに、充実した余暇生活が享受できるよう、業界・勤労者と行政が一体となってすすめるレクレエーション等の事業として、新規に労働行政振興事業を計画しています。

各種団体みなさんとの対話や意見を聞く（説明する菊本町長）

	万円
社会福祉協議会運営費	415
各種福祉団体助成費	150
戦没者招魂慰霊祭費	20
国際障害者記念行事	20
低所得者等及入院患者更正慰問費	285
福祉医療費扶助事業	1,008
老人センター運営費	1,030
老人スポーツ関係費	107
家庭奉仕員派遣及び心配ごと相談委託費	287
老人健康診査費	20
老人ひとり暮らし一声運動（ヤクルト配達）	14
老人クラブ助成	156
老人医療費扶助費	9,425
在宅ねたきり老人介護手当	120
老人保健医療総合対策開発	287
敬老会及敬老年金	797
児童福祉費（保育所運営費）	1億1,413
児童手当費	2,488
国民健康保険事業会計繰出金	790
検診事業費	333
予防接種費	650
地区衛生組織費	30
公害対策費	54
国民健康づくり推進費	150
塵芥処理一部事務組合負担金	2,629
北松南部清掃一部組合負担金（し尿処理費）	2,174
上水道事業会計補助金	2,060
診療所事業会計補助金	426
北松伝染病棟組合負担金	154
勤労青少年関係費	275
労働行政振興事業費	25

調和のとれた産業開発を
――農林水産業・商工――

豊かな町民生活を達成するために、また若年層が定住する活力ある町づくりを進めるためにも、農村、商工、観光を含めた産業振興を図るため調和のとれた活力のある産業の町づくりを目指します。

	万円
高度農業総合コンサルタント事業	36
農地等利用関係紛争処理費	68
農業者年金委託事業費	64
農用地高度利用促進事業費	62
農業振興費（団体負担金4件、制度補助金6件、団体補助金9件、その他7件）	496
米穀流通消費改善対策費	12
水田利用再編対策指導推進費等	136
転作促進基盤整備費	1,664
米消費改善総合対策費	53
地域農政推進対策費	90
特産農産物新規導入実験費	100
地域農業生産総合振興費	36
農村地域整備開発促進費	21
農地費（県負担金5件、制度事業補助金及び団体補助金6件）	4,558
林業振興費等	176
森林組合事業補助金	1,055
林業生産者事業補助金	50
佐々川内水面振興補助金	35
商工業振興費	602
観光費（町観光協会補助金等含む）	146

公営住宅建設を
――土木・消防――

新規事業として、国庫補助により松瀬地区に十六戸の住宅を建設します。また、継続事業ですすめている神田市瀬線道路新設（架橋を含む）改良工事及び皿山公園、千本運動公園のプール建設事業を実施します。

町単独事業では、道路の改良側溝整備及び舗装、河川改修等、でき得る限り住民の要望に答え実施することにしております。

▽消防関係では、操法大会の費用と、防火水槽二基を新設します。

		万円
改良工事	(9件)	1億7,679
舗装工事	(6件)	2,000
側溝工事	(11件)	1,040
河川排水路の整備	(7件)	2,270
橋梁、法留、補修工事等	(7件)	3,610
常備消防費		4,991
非常備消防費		1,903
消防施設費		1,187
消防災害対策費		30

神田市瀬線新設道路(佐々川の架橋を待つ)
また前方の神田ぼた山開発も検討中

新規事業のため増額
公債比率は全国平均の0.1%低い
――公　債　費――

五十五年度末の町債残額は二十億五千五百十六万四千円で、五十六年度中の起債見込額は、三億二千五百六十万円で、五十六年度中の元金償還を差引き、五十六年度末の町債残額は、二十二億五千五百十二万八千円となる見込であり、元金償還費一億二千五百六十三万六千円、利息一億四千四百九十三万五千円と、一時借入金利子百万円を計上しております。

なお、歳入説明でも申しあげましたとおり、公営住宅の建設、役場裏駐車場の整備等新規事業のため、約二〇%増額となっております。

計画中の小浦自然公園から南部地区を望む

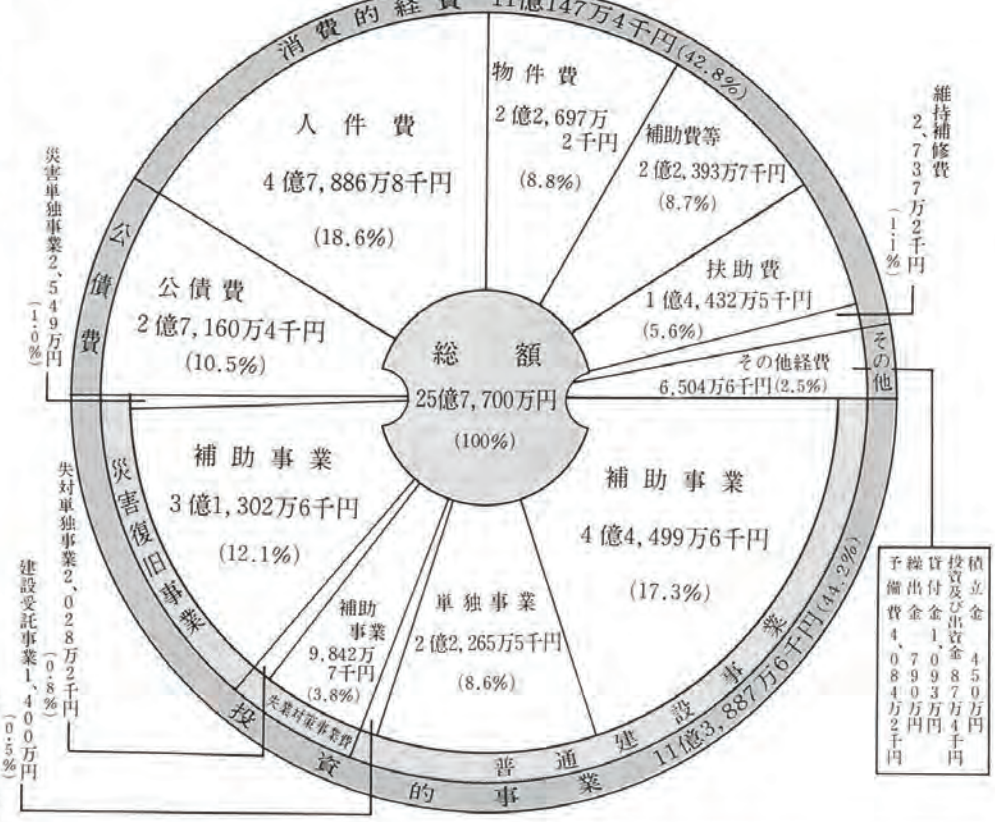
文化活動も教育行政の重点に
――教　育――

義務教育の環境整備及び教育内容の充実、社会教育の充実、なかでも、文化活動を、教育行政の重点として取り組み、各種文化団体やグループの育成につとめ、佐々町に文化活動の定着化をはかるため一部助成し振興につとめる。

佐々町の将来を背負って立つ子どもたちのためにもいろいろな施策を

	万円
学校教育振興費	1,778
学校管理費	2,165
学校給食費	2,529
幼稚園教育振興費	205
幼稚園管理費	1,796
社会教育関係（各団体負担金、補助金等）	2,292
少年健全育成費	96
文化財費	49
郷土誌関係費	525
公民館関係費	2,148
保健体育費（団体補助及負担金10件を含む）	437
体力つくり事業費	25

性質別内訳



“たばこ”は
町内で買いましょう

1箱（20本入り）を町内で買うと、25円30銭が道路や学校など建設の財源になります。

事業投資に
11億3千887万円

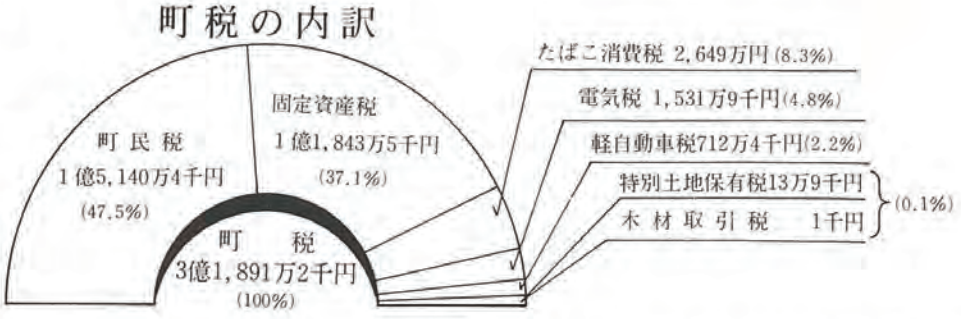
◇補助事業◇道路＝神田市公園、皿山公園、住宅＝公営住宅建設（松瀬）、河川＝54瀬線道路改良並びに橋梁整備大平線道路、真竹谷線道路新設改良工事、公園＝千本運動線、農道舗装＝神田第二地区森の木地区、神田下地区、神田上地区、林道開設＝大茂市瀬線林道改良工事、第二次林構馬込志方線林道開設工事、林道舗装＝木場、神田線林道舗装工事、鉱害復旧＝第二牧崎地区、佐々東部地区、災害復旧＝五十五年災農地百二十五件、五十五年災農業用施設三十一件、治山＝口石地区小規模治山工事、土地改良＝木場第二地区ほ場整備。

◇単独事業◇道路＝古堂線口石・東町線、大岳線（新設改良）、半坂線、口石水道線美渡世越線、高陵町線、神田線支線、中央小浦線（舗装）舗装道路補修工事、小春露切橋線、牟田原線、里木場線（改良）、牧崎線線（側溝工事）寄角山線一工区、同二工区平野線、浜迎線、中央小浦線、芳浦線、旧佐世保鹿町線、東町線、八口線、正興寺橋線（側溝整備）、口石水道線（法留）木場半白線（路側石垣）、芳浦西町線（道路整備）里木場線暗渠工事一工区、同二工区、東町地区、松瀬地区、下水排水路整備工事

河川＝羽須和川護岸整備工事、江里地区排水路整備工事羽須和川床版工事、羽須和川底張工事、順手川改良工事

公共土本施設災害復旧＝椎木谷線災害関連工事、木場線災害関連工事。

町税の内訳



新設工事中の東町～口石線

一般会計歳入歳出予算

歳入

款	項	金額
1 町税		318,912
	1 町民税	151,404
	2 固定資産税	118,435
	3 軽自動車税	7,124
	4 たばこ消費税	26,490
	5 電気税	15,319
	6 木材取引税	1
	7 特別土地保有税	139
2 地方譲与税		45,500
	1 自動車重量譲与税	28,000
	2 地方道路譲与税	17,500
3 自動車取得税交付金		23,000
	1 自動車取得税交付金	23,000
4 地方交付税		896,437
	1 地方交付税	896,437
5 交通安全対策特別交付金		900
	1 交通安全対策特別交付金	900
6 分担金及び負担金		307,775
	1 負担金	307,775
7 使用料及び手数料		28,656
	1 使用料	25,916
	2 手数料	2,740
8 国庫支出金		350,193
	1 国庫負担金	147,344
	2 国庫補助金	198,176
	3 委託金	4,673
9 県支出金		194,202
	1 県負担金	26,841
	2 県補助金	158,613
	3 委託金	8,748
10 財産収入		7,242
	1 財産運用収入	5,700
	2 財産売払収入	1,542
11 寄附金		1
	1 寄附金	1
12 繰入金		35,000
	1 基金繰入金	35,000
13 繰越金		1
	1 繰越金	1
14 諸収入		43,581
	1 延滞金、加算金及び過料	1
	2 預金利子	10,000
	3 貸付金元利収入	12,086
	4 受託事業収入	15,577
	5 雑入	5,917
15 町債		325,600
	1 町債	325,600
歳入合計		2,577,000

歳出

(単位 千円)

款	項	金額
1 議会費		59,567
	1 議会費	59,567
2 総務費		279,460
	1 総務管理費	199,233
	2 徴税費	36,512
	3 戸籍住民基本台帳費	15,090
	4 選挙費	8,544
	5 統計調査費	109
	6 国土調査費	19,147
	7 監査委員費	825
3 民生費	1	327,333
	1 社会福祉費	188,315
	2 児童福祉費	139,013
	3 災害救助費	5
4 衛生費		105,017
	1 保健衛生費	29,482
	2 清掃費	49,169
	3 上水道費	20,600
	4 診療所費	4,266
	5 保健衛生諸費	1,500
5 労働費		121,714
	1 失業対策費	50,113
	2 産炭地域開発就労事業費	43,956
	3 特定地域開発就労事業費	24,640
	4 労働諸費	3,005
6 農林水産業費		263,460
	1 農業費	210,570
	2 林業費	52,524
	3 水産業費	370
7 商工費		14,490
	1 商工費	14,490
8 土木費		496,107
	1 土木管理費	30,543
	2 道路橋梁費	196,434
	3 河川費	23,773
	4 港湾費	60
	5 都市計画費	83,149
	6 住宅費	162,148
9 消防費		81,131
	1 消防費	81,131
10 教育費		172,830
	1 教育総務費	22,107
	2 小学校費	45,923
	3 中学校費	30,308
	4 幼稚園費	20,015
	5 社会教育費	47,887
	6 保健体育費	6,590
11 災害復旧費		342,655
	1 農林水産施設災害復旧費	313,026
	2 公社土木施設災害復旧費	29,629
12 公債費		271,604
	1 公債費	271,604
13 諸支出金		786
	1 普通財産取得費	786
14 予備費		40,842
	1 予備費	40,842
歳出合計		2,577,000

国民健康保険特別会計

健康管理に重点

五十六年度の当初予算は、四億五千三百八十八万三千円で前年度に対し、三〇・七%の増加となっております。

これは、国保会計予算の中で約九十三・六%を占める医療費の伸びのためで、主な要因として、高額患者並びに新薬高額医療器具等の使用による増加と思われます。更に今年度は、中央における諸情勢から医療費の改定も見込まれ、医療費の上昇はさけられない状況にあります。

長崎県推計医療費上昇率は平均十一・三%でありますが本町は、最低限におさえても十二・五五%となります。

また、国庫における助成もその配分について流動的であり、又、町の一般会計からの繰り入れ金も増額しているが、医療費の伸びからみて被保険者の負担の増加はさけられない状況であります。

今後、被保険者の健康管理のため、町民の健康づくりを推進して、医療費の節減に努めなければならないと思います。

水道事業会計

配水池の建設に着手

五十六年度の給水件数は、月平均三千三百三〇件が見込まれ、普及率は、九十三%に達します。年間、百四万五千三〇〇立方メートル（一日平均二千八百六十四立方メートル）の浄水を供給するため、施設の改善充実を図り、経済効果を高めるとともに一般経費については極力節減に努め、更に一般会計よりの繰入れ補助（二、〇〇〇万）を見込みましたが、なお本年度は三十三・五%の水道料金の改定を余儀なくされ、五月分料金より適用することとしています。

予防注射等はすすんで受けましょう。

〈収益的収入及び支出〉は

水道使用料は、九千三百万円を計上。一般会計より企業債利子償還補助として、従来よりの六十万円に更に二千万円を加え、二千六十万円を計上。その他の収入二百九十万八千円、収入合計を一億一千六百五十万八千円としました。

浄水場施設能力アップに伴い、動力費等が増加したが、一般経費全体としては、六・四%増の六千三百三十八万円を計上。減価償却費は、前年度に比較し、一千六百五十五万円（二百三十九%）増の二千三百四十七万三千円、支払利息は、二千二百万円（二〇三%）増の二千九百二十五万六千円計上。予備費三十九万九千円を含め、支出合計を一億一千六百五十万八千円としました。

〈資本的収入及び支出〉は

第三次拡張事業が、第二年度に入り、配水池建設を行うため、企業債五千八百万円、その他百二十五万一千円、収入合計五千九百二十五万一千円としました。

配水池（二千立方メートル）一基を増設七千三百万円、その他の建設改良一千百八十三万六千円、企業債元金償還金二百三十三万円、予備費二百八十三万四千円を含め、支出合計を九千万円としました。

診療所事業会計

経費の節減できりもり

五十六年度も、諸経費の増加はさけられないので、公的医療施設として、業務に支障をきたさないよう、増収確保と効率的な経費の運用に努めます。

なお、収支の概要は、次のとおりであります。

〈収益的収入〉は

医業収益は、前年の実績を考慮し、若干の増収を見込み一億一千六百八十五万一千円（前年度当初予算に比較して三・一%増加）を計上。

医業外収益は、一般会計より補助金として、三百六十三万二千円を繰り入れ、五百八十四万円を計上。

〈収益的支出〉は

職員給与費六千三百五十九万三千円は、前年に比較して四・二%の増加、材料費については、前年度並みに三千四百四十二万三千円を計上、経費については、一千七十九万八千円を計上しておりますが極力節減に努めます。

〈資本的収入〉は

企業債償還金補助金として一般会計から六十三万四千円を繰り入れています。

〈資本的支出〉は

建設改良費として、備品購入費百一万円を計上。企業債償還金は八十六万三千円です。

なお、資本的収入額が、資本的支出額に対して不足する額は、過年度損益勘定留保資金で補てんいたします。

三月の定例会から

56年度当初予算のほか 28件を可決

三月定例会が四日から十八日までの十五日間にわたって開かれました。

審議された案件は「昭和五十六年度佐々町一般会計予算案」など二十九議案と陳情二件それに決議一件などとなっております。

◇町長報告◇

○国鉄松浦線の存続陳情の件

○佐々川取水の件

○町政四十周年記念式典の件

○国土利用計画策定の件

○専決処分の件

◇議会関係報告◇

○全国石炭鉱業関係総会の件

○北松町村議会議長会の件

○県町村議会議長会の件

○県石炭鉱業関係会議の件

○上水道建設特別委員会の件

◇町議会全員協議会◇

○「町民憲章」の制定協議をし賛成多数で決まる。

プール敷地造成など着々と進む千本運動公園

29議案可決

○社会福祉法人に対する助成条例制定

○農業構造改善村落特別対策事業（健康管理施設）のうち事業費の変更等

○佐々東部地区鉱害復旧工事費が事業費割当減のため変更

○五十六年度一般会計、特別会計予算（別掲参照）

○五十五年度一般会計、特別会計補正予算

・一般会計補正予算（第四・五号）は、歳入歳出それぞれ八百八十一万四千円を追加補正し、歳入歳出それぞれの総額が二十五億九千九十二万円とする。

・国民健康保険特別会計補正予算（第三号）は、歳入歳出それぞれ五百二十五万円を減額し、歳入歳出それぞれ四億六百三十万二千円とする。

・診療所事業会計補正予算（第三号）は、事業収益部で、六十五万一千円を追加し、一億一千六百四十二万二千円、資本的支出の部で三十六万一千円を減額し、二百四十六万二千円とする。

・水道事業会計補正予算（第三号）は、収益的の部で二百二十六万二千円減額し一億一千九十七万円とする。

○佐々町職員定数条例の一部改正（町長の事務部局の職員八十人を七十九人、水道事業の職員六人を七人）

○県町村職員退職手当組合規約の一部変更

○佐々町敬老年金の一部を改正（70歳～79歳まで五千円を六千円、80歳～89歳まで七千円を八千円、90歳以上に九千円を一万円）

○佐々町福祉医療費の条例施行規則一部改正（「重度心身障害者」を「心身障害者」と改正外）

○健康センター設置条例及び管理規則（利用申出書等）

○真竹谷線道路新設工事の件

○片木線農道開設の件

○町営土地改良事業の件（団体営農道舗装整備事業）

○神田市瀬線道路新設改良工事の件

○里山千本公園線道路認定

○千本公園整備工事の件（プール工事外）

○松瀬団地（公営住宅）の件

○東部地区鉱害復旧工事の件

○佐々町水道事業給水条例の一部改正（水道の使用料金が五月分から次のとおり適用されます。）

・五立方メートルまで七五〇円（旧五五〇円）

・十立方メートルまで一、〇〇〇円（旧七〇〇円）

・超過料金（十立方メートル以上の場合一立方メートルにつき、一二〇円（旧一〇〇円）

※メータ使用料金を含む。

※その他一部改正あり。

○議会議員の報酬及び費用弁償等の一部改例改正　条

○町長助役及び収入役の給与等の一部条例の改正

○教育委員会教育長の給与及び勤務時間等の一部条例改正

◇陳　情◇

一、佐々町中央海岸線道路の佐々町役場より、国道二〇四号線に接続する間に、上水道管の設置を陳情。

二、佐々町商工会に対する助成金の増額を陳情。

◇決　議◇

◎交通非常事態宣言を決議する。

2面・3面の顔写真は…

0才が力竹幹ちゃん（口石）で、おばあちゃんは町内最高令者の田島テイさん（96才＝四ツ井樋）

発行　佐々町役場企画室（電話2－2101）佐々町本田原免168の2（〒857－03）　印刷　(有)広川印刷